

第15回

アクティビティ・ケア 全国大会

＼アクティビティディレクター／
誕生20周年記念大会／＼



2026年 3月 1日(日) 10:00~16:30 《交流会》17:00~19:00

【会場】 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木） 【定員】 200名

【参加費】 《会員》5,000円 《一般》6,000円 《交流会参加費》5,000円

更新単位
付与対象
(申請中)

日本認知症ケア学会「認知症ケア専門士」3単位付与
日本作業療法士協会 SIG認定「基礎ポイント」1ポイント付与
日本認知症予防学会「認知症予防専門士」更新単位2単位付与（年間4単位まで）

【参加お申込み方法】

芸術と遊びらぼ



- ① 講座申込専用サイト「芸術と遊びらぼ」からお申込みください。
お支払い方法は、クレジットカード・郵便振替・銀行振込から選べます。
右のQRコードまたは「芸術と遊びらぼ」で検索し、「高齢者福祉」から「アクティビティ・ケア全国大会」のページへ。
希望分科会と参加区分（一般・会員／懇親会参加有無）を選択し「カートに入れる」
→必要事項を入力し「申込確認する」→次ページで「申し込む」をクリックして完了。
*ご入金の際の手数料等はご負担ください。
*芸術と遊び創造協会のアカウント(@art-play.or.jp)が受信できるように受信許可設定をお願いします。
- ② 受付完了の自動返信メールが1日以上経っても届かない場合は
「school@art-play.or.jp」までご連絡ください。
- ③ 2月16日(月)以降メールにて参加のご案内をお送りします。



認定NPO法人
芸術と遊び創造協会 高齢者アクティビティ開発センター

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-20 認定NPO法人芸術と遊び創造協会(木・日曜日、祝日以外の10:00~17:30)
TEL 03-5367-9601 FAX 03-5367-9602 URL <http://www.aptycare.com/> E-mail adc@art-play.or.jp

後援(申請中を含む)：一般社団法人日本認知症ケア学会 一般社団法人日本認知症予防学会
一般社団法人日本作業療法士協会

Facebookページにて最新情報を発信中！
<http://www.facebook.com/aptycare>

第15回アクティビティ・ケア全国大会の開催に向けて

この「アクティビティ・ケア全国大会」は、高齢者や障がい者への生活から活動まで多岐にわたるケアの実践法と今後の方向性について、発表者と参加者が共に考え合うことを目的として2010年から開催しています。私たちが日本でアクティビティディレクターの認定を始めてから今年で20年の節目を迎えることを記念して、多くの当事者の方と対話していらした町亞聖さんにご講演いただきます。また日本の福祉のあり方を考え続ける専門家によるシンポジウムや、午後のバラエティー豊かな分科会を通して、団塊の世代が後期高齢者を迎えたこれから先のアクティビティ・ケアを考えたいと思います。みなさまふるってご参加ください。

高齢者アクティビティ開発センター代表 多田千尋

10:00～12:30 全体会 受付：センター棟4階 417

〈総合司会〉 小笠原 愛（認定NPO法人 芸術と遊び創造協会）

10:00 開会あいさつ

多田千尋（認定NPO法人 芸術と遊び創造協会 理事長・高齢者アクティビティ開発センター代表）

10:15 オープニングスピーチ

アクティビティディレクターとして高齢者と寄り添い続けた20年

木崎 美江（特別養護老人ホームさくら苑 看護師・ケアマネジャー・機能訓練指導員／アクティビティインストラクター講師）

10:25 特別講演

できないことではなく、できることを数える ～認知症や障がいをもつ方の声なき声を伝え続けて～

ご自身が高校生の時にお母様がくも膜下出血で倒れ、その後、日テレのアナウンサーとして活躍しながらも、車いす生活のお母様を10年以上にわたって介護し続けた町亞聖さん。その経験から介護や医療を生涯のテーマとして取材を続け、ラジオ番組なども通じて認知症の専門家や当事者との対話を続けています。「人生は長さではなく、深さが大切です」と語る町さんに、「できること」に視点を向けた介護のヒントをお話しいただきます。

町亞聖（フリーアナウンサー）



11:10 20周年記念シンポジウム

団塊の世代がやってきた！“アクティビティ・ケア”のこれからの10年

2025年、団塊の世代が後期高齢者になりました。私たちは、増加する要介護高齢者への対応だけでなく、さまざまな文化を体験してこられた団塊の世代の人々に向けた「本物志向のアクティビティ・ケア」を考えて行く必要があります。当事者との対話を続ける町亞聖さん、地域での当たり前の生活を目指す綿祐二さん、認知症ケアのスペシャリスト高橋克佳さん、アクティビティ・ケアを推進し続ける多田千尋と共に、これからのアクティビティ・ケアを考えましょう。

（シンポジスト）



町亞聖

フリーアナウンサー／元ヤングケアラー
1995年日本テレビにアナウンサーとして入社。報道キャスター・記者を経て、現在はフリーアナウンサーとして医療・介護をテーマに取材、啓発活動を続ける。著書に『十年介護』（小学館文庫）、『受援力“介護が日常時代”のいますべてのケアラーに届けたい本当に必要なもの』（法研）。



綿祐二

日本福祉大学 福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科教授／社会福祉法人睦月会 理事長
アクティビティディレクター講師
「地域で当たり前の生活を当たり前に！」をモットーに、既存の福祉施設からの脱却を目指し、新しい福祉の創造を実現している。



高橋克佳

介護老人保健施設もえぎ野 看護師
アクティビティディレクター講師
リアリティオリエンテーションなど、認知症高齢者へのケアのあり方を日々研究、地域で認知症の方を支えていくこと、認知症の方だけでなくその家族へのケアの重要性を訴え、実践に繋げる。



多田千尋

認定NPO法人 芸術と遊び創造協会 理事長
高齢者アクティビティ開発センター代表
乳幼児から高齢者までの生活に遊びや芸術を取り入れることによる心の栄養補給や、世代間交流の実践・研究に取り組む。2005年に高齢者アクティビティ開発センターを設立し、アクティビティ・ケアの推進を続けている。

（コーディネーター） 馬場 清（認定NPO法人 芸術と遊び創造協会 副理事長）

12:30 昼食休憩 敷地内に食堂やカフェ、売店があります。持参された昼食はロビーやフリースペースでお召し上がりいただけます。

13:30 アクティビティ・ケア研究交流&実践講座 第1部

オリジナリティあふれるアクティビティの活動発表と実践講座を、分科会形式で行います。アクティビティディレクターや、おもちゃコンサルタントの魅力あふれる実践に、専門家や研究者のアドバイスを交え、発表者と参加者が共にアクティビティ・ケアのスキルを磨きます。

※第1部、第2部それぞれ希望の分科会を選んでお申し込みください。定員に達した分科会は締め切ります。

①【リハビリ】アクティブラリハビリで地域を元気に!

〈報告者〉 **アクティビティ・ケアは“つながり”ケア**

太田晃（ゆりほんアクティビティケア研究会代表／アクティビティディレクター）

心が動く瞬間が“主体性”を生む

芝井孝祐（九十九里病院作業療法士／アクティビティディレクター・おもちゃコンサルタント）

〈座長〉 桂裕二（通所リハビリテーション鶴の園作業療法士／アクティビティディレクター講師）

〈アドバイザー〉 白坂康俊（群馬／パース大学リハビリテーション学部言語聴覚学科教授／アクティビティディレクター・おもちゃコンサルタント）



②【音楽】コミュニケーションを楽しむミュージック・アクティビティ

〈実践者〉 **ヒット曲の“サビ”をスキヤットで♪**

遊び心でひろがる、世代間コミュニケーション

山下一郎（TMI/Piash代表／金城学院大学非常勤講師／アクティビティディレクター）

林康江（順天堂大学東京江東高齢者医療センター認知症カフェ音楽講師／アクティビティディレクター）

〈座長〉 小平有紀（ナチュラルセラピーインテグレート代表／アクティビティディレクター講師・おもちゃコンサルタント）

〈アドバイザー〉 原和子（岐阜保健大学リハビリテーション学部作業療法学科教授）



③【芸術】手を動かし心が動く! 大人のための創作アクティビティ

〈実践者〉 **巨大墨絵にチャレンジ！松竹梅を描く**

中野克枝（湊デイサービスセンター介護福祉士／アクティビティディレクター・おもちゃコンサルタント）

“いてくれて、ありがとう”を伝える臨床美術

辻美帆（医療法人社団翔洋会理事・広報）

木崎美江（特別養護老人ホームさくら苑看護師・ケアマネジャー・機能訓練指導員／アクティビティインストラクター講師）



15:00 アクティビティ・ケア研究交流&実践講座 第2部



④【ケア】暮らしの記憶を思い出すリアリティオリエンテーション

〈講師・ファシリテーター〉 **認知症の人に“今”を伝えるリアリティオリエンテーションとは**

高橋克佳（介護老人保健施設もえぎ野看護師／アクティビティディレクター講師）

地域の暮らしからつながる生活ケア

高橋芳雄（医療法人川瀬神経内科クリニック介護科科長・介護福祉士／アクティビティディレクター講師）

林田真理子（地域密着型特別養護老人ホームアメティいわど施設長・看護師／アクティビティディレクター）



⑤【運動】心が動けば身体が動く! 楽しく続けるフレイルケア

〈実践者〉 **おいしく食べよう一笑涯！体験しよう“くちビルディング”**

清水愛子（株）グッドネイバースカンパニー代表理事・医師）・児島満理奈（株）グッドネイバースカンパニー理学療法士）

その人らしい毎日を支える介護予防・健康づくりプログラム

浅野清心（株）ノーザンライツ・コーポレーション代表取締役／アクティビティディレクター）

〈アドバイザー〉 新田淳子（株）福祉規格総合研究所作業療法士／アクティビティディレクター講師）



⑥【遊び】アクティビティ・トイで地域の介護予防・認知症予防

〈報告者〉 **地域の集いの場をつくる！高齢者福祉施設の介護予防サロン**

野田拓司・松山祥太（老人総合福祉施設グリーンヒルみぶね介護福祉士／アクティビティディレクター）

遊び心が地域を元気にする！高齢者のための“おもちゃの広場”

頭金多絵（おもちゃとあそびのたんぽぽ／アクティビティディレクター・おもちゃコンサルタントマスター）

“遊び”に効果はあるのか？アクティビティ・トイと認知症予防

高橋眞悟（高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科講師）・磯忍（高齢者アクティビティ開発センター主任研究員）

〈アドバイザー〉 吉本洋（老人総合福祉施設グリーンヒルみぶね施設長／アクティビティディレクター）

17:00 交流会 実践者が全国から集合！職種を超えて楽しく情報交換しましょう。

〈会場〉 センター棟 2階だしラボカフェ 〈参加費〉 5,000円



《アクティビティディレクター取得者限定 当日運営サポーター募集!》 当日9:00集合／17:00解散

アクティビティディレクター取得者で会員であり、全国大会に参加される方を対象に、当日運営サポーターを募集します。お手伝いいただく内容は、大会プログラムの前後の時間帯に行う、会場設営、受付、誘導、清掃、会場撤収などです。アクティビティ・ケアの仲間の輪を広げるために、ぜひご協力をお願いします！

※全国大会への参加申込手続き時に、必要事項記入の際「備考欄」に「サポーター希望」とお書き添えください

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター



敷地内に宿泊棟もあります。宿泊をご希望の方はオリンピックセンターに直接お問合せください。
<https://nyc.niye.go.jp>



要介護高齢者の生活の質を高める専門家養成 4つのステップ

高齢者アクティビティ開発センターは、要介護の高齢者の生活に、その人らしい楽しさや遊び、芸術などをプラスすることによる「心の栄養補給」を目的として、アクティビティ・ケアの実践・研究をするとともに、人材養成や継続学習および情報交換のための全国大会を行っています。

Step 1 アクティビティインストラクター（初級）

アクティビティ・ケアの初めの一歩として、介護予防・要介護者のQOLを高めるアクティビティ・ケアの基礎知識と実践的なコミュニケーションスキルを学びます。

まもなく開催！ 東京都新宿区 東京おもちゃ美術館 2026年3月15日（日） 講師：小平有紀
京都府京都市 京都テルサ 2026年3月20日（金・祝） 講師：磯 忍

Step 2 アクティビティディレクター（中級）

多彩な講師陣より、アクティビティ・ケアの実践スキルを学ぶと共に、計画力や実践力を養います。職種を超えた受講生同士の交流も深まり、現場に戻ってからのケアの発展にも役立つとご好評いただいています。次回は2026年11月～12月に開講予定です。

Step 3 アクティビティ・ケア全国大会（継続学習）

講演や実践報告、アクティビティ体験などを通し、生活から活動まで多岐にわたるアクティビティ・ケアの実践法と今後の方針について、発表者と参加者が共に考え、学び合います。

Step 4

アクティビティ・ケア宣言施設

アクティビティディレクターが活躍し、芸術や遊び、生活文化などの活動を通じて高齢者的心に栄養を与えるとともに、生活を活性化させ、その人らしい生き方を支えるケアを推進している施設を認定します。

